

令和2年度第2期薬学部長期実務実習合同発表会のご報告

令和2年10月14日（水）

今年度は合同発表会を、【新型コロナウイルス感染症に対応した2020年度薬学実務実習についての指針】等に準じ、リモート形式で開催することになり第2期の実務実習合同発表会を下記の通り実施することができました。

日時：7月31日（金）14：00～約1時間半開催

発表学生：6名

参加病院：5施設（県立南部医療センター・那覇市立病院・沖縄第一病院・琉球大学病院・沖縄協同病院）

参加大学：2大学（長崎国際大学・広島国際大学・徳島文理大学（香川校））

2020年7月31日（金）長期実務実習生合同発表会（リモート開催）学生アンケート結果集計

参加 6人/6人 アンケート回収 6人/6人

① 発表と質疑応答の時間はどうでしたか？【発表5分、質疑応答2分】

- ・丁度良い：4人（66%）短い：2人（33%）

【時間についての意見】

- ・10分程度の時間が欲しかった、質疑応答の時間を減らせばできませんか？
- ・発表時間が少し短かった

② 発表会に参加して良かったと感じますか？

- ・非常に良かった：3人（50%）良かった：3人（50%）

③ 他の学生の発表を聞いて、自分の受けた実習は他施設と比べてどう感じましたか？

- ・非常に良かった：3人（50%）良かった：3人（50%）

④ 沖縄県内の病院で就職を考えたとき、この会は参考になりましたか？

- ・参考になった（なる可能性がある）：4人（66%）なんともいえない：2人（33%）

【意見・感想】

- ・他の実習生が実習した内容を知ることができて良かったです。自分が行ってない内容が多く、とても勉強になりました。
- ・決められた時間のなかで発表するというのが初めての経験だったので、大変充実した経験になりました。
- ・手元に（他の人の）資料がなかったため、質問がしにくい。
- ・（資料がないため）内容が抜けている
- ・Zoomを使ったことがなかったため、操作が不慣れで焦りましたが、良い経験になりました。
- ・他の学生がどんな視点から発表内容を考えたのを知ることが出来たことは良かったと思います。
- ・他の人の発表を聞いて、知らなかったことについても知ることが出来て、とても勉強になりました。

実務実習委員会：感想と今後の課題

初めての試みでしたがやって良かったというのが実務実習委員全員の感想です。病薬役員の先生方をはじめ学生受け入れ施設の先生方にこの場を借りてお礼申し上げます。

症例検討を含め自分が実習で経験した内容を学生自身の視点で「自分はこう考えた」「もっと、こうしても良かったかもしれない」という過程をまとめて発表していたのは良かったと思います。

昨年までは学生同士が事前に打ち合わせした質問内容が主だったので質問と答えを「読みあう」という感じが強かったのが、今回はそのようなことがなく、司会が「どうでしたか？どう思いますか？」という質問に対して学生が答える機

会もあり、また指導薬剤師の発言の機会もあったので、司会からの声掛け形式はこれからも続けていいのではないかと
の意見が出ました。司会の役割が重要となりますが分担できることは分担しながら委員で頑張っていこうということに
なりました。

またリモート開催の一番の成果だと思いますが県外から薬学部の担当教諭の参加が3名の先生の参加があり、学生への
質問や合同発表会に対しての感想をいただけたのは特に良かった点だと思います。

「異なる病院・異なる大学の学生が合同で発表会を行う県は今まで聞いたことがありません。とても良い試みだと思
います。大学・機構の方にも是非報告したいと思います」という言葉をいただきました。

学生さんのアンケート結果から

○発表時間と質疑応答の時間に対してはちょうどよいが4人。短い2人。

➡質疑時間を減らして発表時間が欲しいという意見もありましたが、【意見・感想】のところで「決められた時間の
なかで発表することが初めての経験だったので大変充実した経験になりました」ともありましたので発表5分質疑
2分はそのまま継続したいと考えています。

○手元に資料がなくて質問がしにくい

➡これまでも事前に資料配布は行っていない。発表当日のスライドの画面を共有しながら進行していきたいと考
えています。

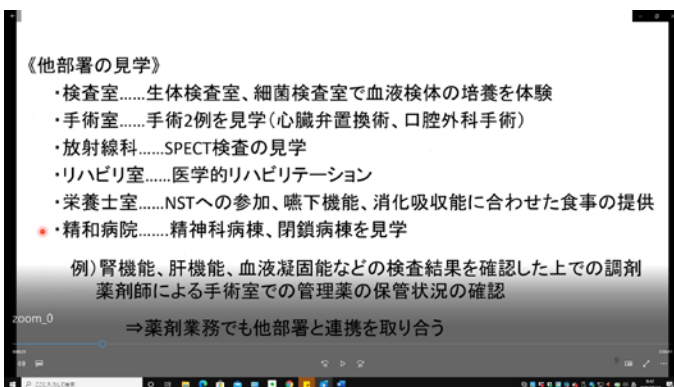
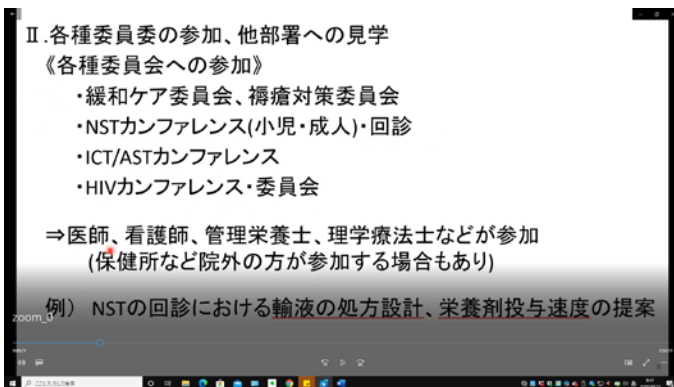
○Zoomの操作に関して不慣れだった

➡この時期だからこそ経験できた事の一つとして捉えて積極的にチャレンジするよう指導していただければと思
います。また第3期の発表会では事前に操作の練習する時間を設けることにしました。

以上のことを次に活かして取り組んでいきたいと思います。

今後とも実務実習委員会の活動にご理解と協力をいただきますようどうぞよろしくお願い致します。





HIV感染症を通して 生涯学習の重要性

- 最適で安全な治療を行い、患者の健康に寄与するためには病態や治療の理解が必要と感じた
- 無意識な差別や偏見を起こしてしまう可能性を少しでも減らすために知ることは大事と感じた

病院実習

長崎国際大学
宮城 匠平

どんな味？

※個人的感想です...

- ・炭酸カルシウム... 食べれなくはない。かすかに甘い。カルシウム感がすごい ☆☆☆
- ・ホスレノール ... 美味しい!!! ラムネの様な食感 ☆☆☆
- ・ビートル ... 土 ☆☆☆

試験より...
薬によって味も舌触り、溶けやすさなどそれぞれ違って、それが順位にも影響していると考えた。
実際に服用するのは、患者さんであり、患者さんが嫌いな剤形や味などもあるので、それにより使い分けていると考えた。

Dr. に聞いてみた

なぜリオナ、沈降炭酸Ca、ホスレノールがよく使われるのか？

・リオナは単純に、鉄も入っており、**貧血患者さんに使いやすい**。透析患者さんは鉄不足になりがちだから。
・ビートルは後から出た薬のため、リオナを使っていた患者さんに**急な薬の変更はしにくい**。
・ホスレノールは、**味や剤形の使いやすさ**。リオナが使いにくい下痢症の患者さんに処方されるイメージ。
・沈降炭酸カルシウムは安いし、**昔から使われているから**、従来からよく処方するイメージ。自分は血管の石灰化などを懸念して使わないけど...



抗がん剤による悪心・嘔吐について

広島国際大学 2期実習生
松田 優理



実務内容発表

那覇市立病院 実習生 松下友香

7/15 (水) :day2 症状について聞き取り

- * 悪心一少し出てきている。→アプレビタント処方提案し追加してもらった。
- * 便秘一確かに出ていない、以前使ってた効果のあったセンノシドを屯用で希望→センノシド処方提案し追加してもらった。
- * 吃逆（しゃっくり）→クロルプロマジン効いてる→継続
- * 食欲→治療前と比べると落ちたが朝ご飯は完食した→経過観察。
- * 末梢神経障害、聴器・内耳障害、口内炎→無し。

新たな問題点

- * 倦怠感：クロルプロマジン飲んでるせいかもしれない。椅子に座ったりして自己調整している。

ご提案

ジブレキサ (オランザピン)



六君子湯



ナゼア (ラモセトロン)



考察

- * 今回CDDP投与後3日間ほど吐き気が酷かったため次回はアプレビタントを初日に処方してもらう。
- * 2コース終えて、CDDP投与後のしゃっくりが毎回出ているためクロルプロマジンも初日から処方してもらいご自身で調整して内服してもらう。
- * 六君子湯は今回だけでは効果があったかどうか判断できないので次回は初日から処方してもらいそこで効果について判断する。
- * 提案の時にラモセトロンは必要なかった。
- * day7付近に出ていた下痢は5-FUの影響も考えられるためその事を伝えて、無理に我慢しないでくださいと伝えてもよかった。

急性心筋梗塞の症例を通して学んだこと

実習先 沖縄協同病院
徳島文理大学 5年 大城 彩里

指導上工夫したこと

PCI処置後のため、服薬習慣の確立を目標に服薬意義を丁寧に説明することを心掛けた。

薬の種類が多いため、服薬指導の際は前回に伝えた内容の確認も行うようにした。

既往の高血圧で服薬歴はあったが、薬の種類が増えたため一包化対応を行った。



zoom_0

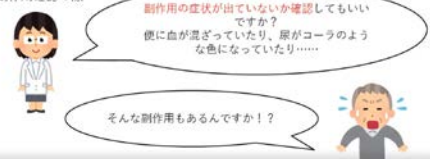
この症例を通して学んだこと 反省

副作用確認の際……

副作用の症状が出ていないか確認してもいいですか？
便に血が混ざっていたり、尿がコーラのよう
な色になっていたり……

そんな副作用もあるんですか！？

頻度は少ないことを伝えたが、患者さんを不安にさせてしまった。
副作用を伝えることは大切だが、直接副作用の確認とは言わずに
会話の中で症状の確認をしたり、言い回しに注意するなど工夫が必要。



zoom_0